

やまたらけ

YAMADARAKE

AUGUST

No. 42

2010

茂倉の絆

夏祭の日。朝8時、国玉神社の境内に続々と男性が集まってきて、相撲大会に向けた土俵づくりが始まります。普段は外に住んでいる帰省中の若手も、作業に加わります。作業も終盤、土俵に木屑がまかれると、あたりは何とも言えない香ばしい匂いに包まれます。「夏だなあ。茂倉だなあ。」茂倉出身の人は、この匂いをかくとそう思うそう。相撲は夏の茂倉の象徴です。

午後、デンデンデンと村中に響く太鼓の音に、大勢の人が境内に集まり始めます。いよいよ相撲大会です。「はっけよーい、のこったー」相撲をとる約20人の子供力士たちの中には、去年負けてしまった悔しさからお父さんを相手に稽古をつんで来た子もいます。見守る大人たちは、「あれは誰の子か？」などと言いながら、子供たちの成長に目を細めます。

日常的に暮らすのは高齢者が多くなり、普段はひっそりとした茂倉。境内に集まった子供力士たちは、茂倉で育ち今は集落を離れて暮らすお父さん、お母さんの子供たちです。外へ出ている人々が子供や孫を連れて帰ってくる季節ごとの行事の日は、茂倉の人口が普段の10倍になったかのように活気あふれる一日となります。(大久保実香)



相撲大会の様子

相撲大会の準備は土俵作りなどから始まる。土俵を縛る際の縄の結び方は難しく、できる人の数は減ってきているのが現実。

相撲大会が終わってからも、茂倉うりなどをつまみに宴会が続く。思い出話に近況報告にと、話は尽きない。



若衆が引っぱった祭り

茂倉は、県道沿いの新倉から十谷峠を経て鯉沢町方面へ向かう峠道沿い、標高約900メートルに位置します。銅やセメント原料を採掘した茂倉鉱山や、林業で栄えた集落で、昭和43年には67世帯が暮らしていました。

しかし、早川集落にあった甲府工業高校早川分校の閉校（昭和40年）や茂倉鉱山の閉山（昭和43年）を経て、昭和40年代頃から中学卒業と同時に集落を出ることが当たり前になり、集落へ残った人々の高齢化が進む一方となりました。

茂倉は、25歳の長男が祭を取り仕切る若衆頭（ワケイシユガシラ）を務めました。

小若衆は、年上の先輩から教わりながら、怒られながら、見よう見まねで土俵の作り方などを覚えました。おじょうもん（お嬢さん）がきれいな着物を着て神輿を見に来たので、それが若者の励みにもなりました。戦争に行って神輿を担ぐことができなかつた人は、御輿を見て涙を流すこともあったそうです。

重たい神輿を担いで練り歩く春祭。力強く奉納相撲をとる夏祭。若者の力が活躍する、皆が楽しみにするお祭でした。おもちゃなどを背負って来た商人が屋台を出し、名付け親になった家では、その子が生まれて最初のお祭の時に、女の子だったからお人形、男の子だったらミニカーや何かを買ってあげたものでした。

形を変えて今なお

かつて、春祭や夏祭の運営は、25歳までの男性によって行われていました。小学校高学年から中学生までは小若衆（コワケイシユ）、それ以上は若衆

若衆の年代の男性が次第に少なくなると、外で暮らす人々も祭の日には



総人足の様子

町道茂倉線は、通るたびに車を降りて石や枝などを片付けてくれる人々によって、いつも通行しやすい状態に保たれている。

総人足が終わると、道脇に溜まった落葉まですっかりきれいになる。みんなで汗を流し、きれいになった道路を見るのはすがすがしい。



茂倉に帰り、区と協力しながら若衆としての役割を果たし祭りを維持しました。しかしながら、そうした人も年をとっていくばかり。平成18年から、春祭は小さな子供神輿だけ、夏祭は子供相撲だけを行うこととなりました。

た落ち葉などがあつという間にきれいになるのは、大勢が力を合わせてこそ。幼いころから一緒に過ごしてきた仲間との作業に、自然と笑顔もあふれます。

「ふるさとに貢献しなげや。」

そんな思いをもつ人にとって、総人足は茂倉で作業をするいいきっかけです。また、集落に暮らす人々は、たくさんの方がふるさとを思っていて集まってくれることをありがたく思っています。

もちろん、茂倉の暮らしは、毎日当たり前前にそこで過ごしている人々がいてこそ、守られています。水道や道路、畑、家など、どれも日常的に使われているからこそ維持できるもの。

「うらが死んだあと、どうなるかねえ。」

多くの人が考えている、答えのない問題です。

茂倉のお墓に入りたい？

「茂倉のお墓に入りたい」。茂倉で生まれ育った人の多くがそう言います。

集まりは確認の場

祭りの他にも、お盆や村仕事の日には、外で暮らすかつての若衆やおじょうもんが茂倉に帰省します。年に2回の総人足そうにんそくは、一世帯一人が出る決まりとなっていて、世帯あり、特にたくさんの方が集まります。新倉から茂倉へと続く道路にたまる

茂倉で子供時代を過ごした世代は、その気持ちを共有できるだろうし、きっと茂倉を大切に思ってくれるだろう。でも、茂倉で暮らした経験をもたない今の子供力士たちの世代になったらどうなるのだろうか。茂倉へのお墓参りを続けてくれるのだろうか。

「ここで生まれた子供は何があっても来てっていうけど、向こうで生まれた子はなんて言うかわからなな。」という声も聞かれます。

絆が希望をつなぐ

けれど、明るい話題もあります。茂

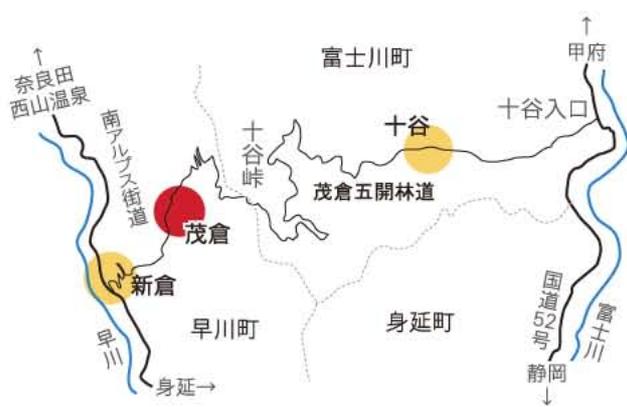
倉で暮らした経験を持たない世代の一人、深澤翔太さん(23歳)。「両親とも茂倉出身ですが、自身は東京育ち。そんな彼が昨年の春に早川町役場に就職し、茂倉で暮らし始めたのです。

自然が好きなことに加え、子供の頃、茂倉で盆踊りや流しソーメンをした思い出が、茂倉で暮らし始める理由の一つになっているといいます。そして「茂倉に百燭電球がとるだよ」とみんながうれしそうに語るように、久し

ぶりの若い力は茂倉中から愛されています。

住んでいる人々と外にいる人々やその子供たちが協力し、夏祭などの行事を大切に続けていくことが、第二の翔太さんや、茂倉をふるさととして大事に思う若い世代が現れることに繋がるのかもしれない。

茂倉に生まれ育った者、茂倉に先祖をもつ者同士の絆をこれからも大切に守っていくこと。顔を合わせて皆で作業をし、絆を再確認できる機会をこれからも大切に活かしていくこと。それが、これからの茂倉の鍵を握っているような気がしています。



茂倉の一年

1月
柳巻き
道祖神祭 (獅子舞)

12月
冬の総人足

本格的な冬が始まるのを前に、村中で冬支度。

11月
冬祭

8月
夏祭



お盆の間、夜にはキリコ灯笼がともされる。茂倉に2つあるお寺ではそれぞれ施餓鬼も行われる。

7月
祇園祭 (獅子舞)



4月
三番叟
春の総人足

三番叟は五穀豊穡を願って奉納される伝統芸能。白翁、黒翁、先台、笛、太鼓、拍子木が各1人と小鼓3人の計9人で行われる。



道祖神の前で獅子舞が舞い、笛と太鼓の音が村に響く。

3月
春祭

神社で湯立ての儀を執り行った後、御輿が集落を練り歩く。奉納する餅は前日から準備され、人々に配られる。



豪華賞品？が当たる やまだらけクイズ! 20

問：茂倉で100年以上前から作り続けられている野菜は、何でしょう。右の写真がその野菜です！



答 1, 茂倉すいか
2, 茂倉かぼちゃ
3, 茂倉うり

正解者の中から抽選で2名様に、みさえ豆をプレゼントします！

前回のクイズの正解は、3の「50m」でした。抽選の結果、大石さん(静岡市)、横内さん(南アルプス市)の2名が当選しました。おめでとうございます！

八重子さんは、他出する息子への想いと、それに対する息子の返事を想像し詩にした。ちなみに茂倉弁で、「うらあ」とは私、「わやあ」とはあなたの意。

息子へ
野菜、穀物つくるけど
サル、シカ、イノシシ食べまくる
うらあ なんだが悲しいわ
わやあ 茂倉をどう思う
畑が荒れて木を植えて
林が家を攻めてくる
うらあ なんだが淋しいわ
わやあ 茂倉をどう思う
年寄りばかりの村だけと
しつかり我が家を守つてる
うらあ なんだが切ないわ
わやあ 茂倉をどう思う
だけと良いところあるんだよ
皆の心が温かい
うらあ なんだが嬉しいわ
わやあ 茂倉をどう思う
帰つてこいとは言わないが
親孝行を忘れるな
わかつてくれたらうれしいわ
わやあ 茂倉をどう思う

「息子へ」「おかあへ」 作：望月八重子さん (茂倉在住)

おがあへ
おがあ手紙をありがとう
皆元気だ心配するな
淋しくなつたら遊びにこいよ
おがあの来るのを待っている
あまり口には出さないけれど
俺も茂倉は好きなんだ
働く所がないので居れぬ
川に潜つてやまめをつかみ
友と遊んだ山や川
皆で餅つき神輿をかつぎ
賑やかだったね春祭り
相撲大会したお宮
俺の生まれた所だよ
心いや茂倉があるんだよ
おがあの為に言うけれど
あまり長生きするなよな
ピンピンコロリン一番いいよ
何だかんだと書いたけれど
おとうの分まで生きてくれよ

7/17-9/25 早川の行き帰りにお立ち寄り下さい！
米山ご夫妻の展示会、西湖にて開催

早川町に住む陶芸家の米山久志さんと、藍染め作家の米山のぶ子さんの作品展がそれぞれ開催されます。お二人とも、東京のデパートやギャラリーで個展や二人展を開くなどの活躍をなさっています。直接早川の空気を感じるだけでなく、作品を通して早川の息吹を感じるのもいいですね。

米山のぶ子 絞りの藍展
期間：7月17日(土)～8月31日(火)

米山久志作陶展 ～潤いの器たち～
期間：9月2日(木)～9月25日(土)

※会場は、西湖いやしの里根場(山梨県南都留郡富士河口湖町西湖根場2710)。時間は9時～17時。入館料(施設保存協力金)、大人350円(300円)小人(小、中学生)150円(100円)が必要です。



問い合わせ先
「西湖いやしの里 根場(ねんば)」
住所：山梨県南都留郡富士河口湖町西湖根場 2710
TEL：0555-20-4677

南アルプス邑野鳥公園イベント

9/4,5 大人だって川遊びしたい！
「大人の渓流遊びツアー」

南アルプスの渓流で、大人の川遊びをしませんか？魚採りや早川ならではの砂金採り体験などに挑戦し、渓流を遊んでいきます。早川町の文化や遊びを体験できる、他にない川遊びツアーです。

日時：9月4日(土)、5日(日)
対象：高校生以上
参加費：11,800円(1泊3食、税込み)
定員：14名(要申込、9月1日締切)



10/16,17 ワイルドライフツアー
「ニホンジカの生態に迫る」

夕暮れせまる早川の谷にこだまする、シカの声。早川町の秋の風物詩のひとつです。シカの声をついにどんな行動をしているのかを探ります。ニホンジカの研究歴21年のスタッフがご案内する2日間。今年はどうな出会いがあるのでしょうか？

日時：10月16日(土)、17日(日)
対象：高校生以上
参加費：11,800円
定員：14名(要申込、10月13日締切)



9/18,19 南アルプス集落散策ツアー
「日本のマチュピチュ・集落めぐりの旅」

早川町の集落は、南アルプスの山あいにならんでいます。中には「日本のマチュピチュ」という表現がぴったりな場所があります。そんな集落を巡り、地元の方のお話を伺いながら山里の暮らしにふれます。

日時：9月18日(土)、19日(日)
対象：高校生以上
参加費：13,000円(1泊3食、税込み)
定員：14名(要申込、9月15日締切)



集合・宿泊は全て「光源の里温泉 ヘルシー美里」になります。参加費にはガイド料、保険料、野鳥公園入園料が含まれます。

問い合わせ・申し込み先
「南アルプス邑野鳥公園」
TEL&FAX：0556-48-2288 e-mail：yacho@hayakawa-eco.com
http://www.hayakawa-eco.com/yacho/

早川町が
生き残る道は
自然を守ることにある

西山温泉 元湯 蓬莱館

〒409-2702 山梨県南巨摩郡早川町湯島 73
TEL：0556-48-2211(代)/FAX：0556-48-2366

奈良田温泉
七不思議の湯
白根館
日本秘湯を守る会々員

〒409-2701
山梨県南巨摩郡早川町奈良田 344
電話 0556-48-2711
FAX 0556-48-2770
www.nukuyu.com/shiranekan/

毎分 1,630ℓ 湯温 52℃の相川自噴火温泉では日本唯一を誇る新湯湧出
全てのお風呂、客室風呂、給湯、シャワーに至るまで源泉掛け流し

全館源泉掛け流しの宿
西山温泉 慶雲館

〒409-2702
山梨県南巨摩郡早川町西山温泉
TEL 0556-48-2111
FAX 0556-48-2611 http://www.kefuncan.co.jp

生で食べられる餅、豆腐、ハム・ソーセージ、京漬物、米

こだわり食材、はじめました！

「美味しい」「お手頃価格」「健康」
産直・工場直売シリーズ

匠味本舗 匠味本舗身延いいとみ直売所
味舗 スーパー岩田屋

山梨県南巨摩郡身延町飯高 1383 番地
TEL：0556-42-2125(代)/FAX：0556-42-2299

〒400-0606
山梨県南巨摩郡富士川町寺々 4249
電話 0556-27-0224
ファクシミリ 0556-27-0227

十谷上湯温泉
源氏の湯
日本秘湯を守る会々員 www.nukuyu.com/genji-yu/

新築、改装、マイホームの事なら何でもおまかせ

日本建築のプロフェッショナル
望月工務店

〒409-2713 山梨県南巨摩郡早川町保 1792
TEL.0556-45-3016 FAX.0556-45-2661(工場)

9/18 雨畑硯のギャラリー「硯匠庵」にて
絵手紙講座、開催!

硯匠庵の開館当初から10年間関わってこられた、絵手紙作家藤田春海先生による絵手紙講座が開催されます。実習を中心とした指導と講義です。季節の魅力や日々の出来事を絵と文章で表現してみませんか。



日 時：9月18日(土) 9:00～15:00
内 容：実習を中心とした指導と講義
参加費：1,000円
講 師：絵手紙作家 藤田春海先生
場 所：硯匠庵



硯匠庵の茶房 千丁木(せんちょうぎ)に
こだわりの新メニューが登場!

硯匠庵にある喫茶コーナーに新しいメニューが加わりました。雨畑硯をイメージした「硯パン」や、もちきびを練り込んだ「きびパン」など早川らしいメニューを揃えました。雨畑湖周辺の美しい風景を眺めつつ、新しい味をお楽しみください。

新メニュー

- ・硯パン：500円
- ・コーヒーセット(ケーキ付)：500円
- ・きびパン：450円
- ・雨畑茶アイス：500円



※お茶だけのご利用もできます。お気軽にお越し下さい。

問い合わせ・申し込み先「硯匠庵」

住所：山梨県南巨摩郡早川町雨畑 701-1 TEL：0556-45-2210

10/10-11/22 藤田春海先生の絵手紙展も開催!

藤田先生の絵手紙展も、今回で10回目の節目となります。ぜひ硯匠庵まで足を運んでみてください。

期 間：10月10日(日)～11月22日(月) ※火曜定休

「はやくわ創造空間 COCOROTO」企画展

8/1-29 野鳥をこよなく愛する人たちの
「野鳥写真展」

野鳥に魅せられ、撮影された写真の数々。野鳥好きでなくても写真の美しさに感動します。早川町の自然情報も展示します。せっかく自然豊かな早川町に来たのなら立ち寄りないと損! 早川町の自然をもっと深く知り、もっと好きになる写真展です。



開催日時：8月1日(日)～29日(日)
10:00～17:00 ※月曜、火曜定休

企画に関するお問い合わせは、南アルプス
色野鳥公園 ☎ 0556-48-2288) まで

9月展示会は
「足立洋史木版画展 一群<むりぶし>星一」

早川町で木版画作品の創作活動を続ける足立洋史氏。今回、早川町内では初めての展示会開催となります。ダイナミックな彫りと濃淡による刷りで表現される深く繊細な作品は、観る者を不思議な世界へと誘います。この魅力溢れる足立洋史氏の作品展是非ともご高覧下さい。



開催期間：9月1日(水)～26日(日)
※月曜、火曜定休(20日は開館)

10月展示会は「赤沢宿(仮題)」を予定しています。

問い合わせ・申し込み先「早川創造空間 COCOROTO」
住所：山梨県南巨摩郡早川町保 1525 TEL：0556-45-2770



浜田屋商店
電話 0556-48-2311

早川町で感動体験を・・・
光源の里温泉 ヘルシー美里
南アルプス色野鳥公園

ご予約・お問い合わせ
TEL/0556-48-2621
http://www.hayakawa-eco.com/hmisato/



霊峰七面山の登山口であなただの旅を支える

株式会社
俵屋観光
バス ジャンボタクシー

有限会社
俵屋旅館
宿泊 宴会 法事などに

〒409-2732
山梨県南巨摩郡早川町高住 621
電話 0556-45-2500

生命保険、損害保険のことなら
株式会社 さいとうエージェンシー
tel.055-280-3360 fax.055-280-3361

自動車販売、オートリース、レンタカーのことなら
有限会社 S・T・E・P
tel.055-280-3350



〒400-0422 山梨県南アルプス市荊沢 1356-1

パソコン、PCソフト、NTT 販売代理店、
プリンター、コピー機、OA サプライ

オフィス事務機(有)

〒409-3244
山梨県西八代郡市川三郷町岩間 2077
TEL.0556-32-1003 FAX.0556-32-1004

南アルプス街道の交通安全と
清流早川の自然を守ることを永遠のテーマに
地域社会の発展に貢献する事を目指します。

早川町砂利協同組合

代表 井上聡一郎
山梨県南巨摩郡身延町桑倉 761
電話 05566-2-5810

早川旬の直送便

味・香り・歯ごたえ3拍子揃った 「原木栽培の白鳳まいたけ」

森の中で見つけると、舞い上がるほど嬉しというところからついたこの名前。原木で育てられた早川のまいたけは、スーパーで手に入るものとは比べ物にならないおいしさです。天ぷら、バター炒め、まいたけご飯等で、一足早い秋の味覚をお楽しみください。

価格/一般 2200 円
会員 2100 円+送料
内容/1kg
発送/10月上旬より
注文順に発送
締切/9月13日(月)



※天候によっては収穫量が限られ、ご注文いただいてもお送りできない場合がございます。あらかじめご了承ください。

花嫁と一緒に嫁いだ「みさえ豆」

うずら豆を少し小ぶりにしたような「みさえ豆」は、お嫁に行く「みさえ」さんに豆を持たせたことから、みさえ豆と呼ばれているのだとか。柔らかいので、一晩水に浸しておけば、すぐに煮えます。(味がいいから)おしまいにしちょよ(しないでね)というお母さんの言葉を守り、作り続けている貴重な豆です。

価格/通常 1,400 円、会員 1,200 円+送料
内容/1kg
発送/8月下旬より発送
締切/9月27日(月)



■NEXT やまだらけ

43号特集(10月上旬お届け)

「マムシ」

早川町民の密かな楽しみの一つ、マムシ取りとその活用に焦点を当てます。

焼いて食べたり、焼酎につけたり、薬にしたり。様々な活用方法とともに、マムシの生態やマムシ取りの知恵や技、さらには噛まれてひどい目にあった!なんてぞっとするようなエピソードも一挙紹介しちゃいます。これを読めば、あなたもマムシに、いや早川町民に近づく事間違いなし!

地域発展のお手伝い! 地域の暮らしを守る!

早邦建設株式会社

H21 瀬川工用道路工事

【本社】〒409-2732 山梨県南巨摩郡早川町高住 645-27
TEL.0556-45-3000 FAX.0556-45-2288
【生コンクリートプラント】TEL.0556-45-2700
E-mail: soho@soho3000.com

ご当地アイスの決定版! 「雨畑茶アイスとポポアイスの詰め合わせ」

川霧が降りおいしいお茶が採れる雨畑地区の「雨畑茶」の粉を贅沢に使ったアイスクリームと、バナナとマンゴーを足したような味わいの、幻のフルーツ「ポポ」のアイスクリームのセットです。これからの暑い季節には欠かせないアイスクリーム。この機会にぜひ、ご賞味ください。

価格/通常 1,800 円+送料
会員 1,620 円+送料
内容/6個(雨畑茶アイス3個
+ポポアイス3個)
※1個の容量は120ml
発送/注文順に順次発送
締切/在庫がある限り承ります。
お早めにご注文ください。



送料は、全ての商品の基本料金が、普通便 740 円、クール便 950 円で関西、中国、四国、九州、東北、北海道は+100 円~420 円かかります。

■■■ご注文・お問い合わせ先■■■

「NPO 法人 日本上流文化圏研究所(やまだらけ編集部)」

TEL. 0556-45-2160 (9:00~17:30)
FAX. 0556-45-2268
E-mail shop@joryuken.net

注文者氏名、住所、電話番号、お送り先氏名、住所、電話番号、商品名、数量をご連絡下さい。ファックス、メールの場合、折り返しご連絡いたします。3日経っても連絡がない場合は、お手数ですが電話でお問合せください。支払い、商品と一緒に請求書をお送りしますので、指定の金融機関へお振込みください。

※会員とは、早川サポーターズクラブ、及びNPO 法人日本上流文化圏研究所の会員のことで。

読者の声

- 栃原堰堤建設に関わった望月けさ代さんの、とても93歳とは感じられない若さにびっくり!砂防唄が10番までもあることにびっくり!望月さんが未だにそれを覚えておられる事にびっくり!(茅野市Kさん)
- けさ代さんの話、そして唄の読み解き、この2つは民俗学の良くてきたレポートですね。早川の人々の働き方の良い記録です。(八千代市Sさん)
- 何度も早川を訪れているのに、そんなに圧倒的な堰堤があったとは知らなかったです。今度、春木川に土木遺産巡りをしに行きたいです。(川崎市Nさん)

編集部: けさ代さんの記憶力には、編集部も本当に驚かされました。厳しかった仕事も、その中にあった楽しさも、全てが青春時代の大切な思い出なのでしょう。そして、今のけさ代さんを支えているんだと感じました。

● HOT ニュースで紹介されていた草塩温泉とブルーベリーの摘み取り体験に行く予定です。(府中市Kさん)

編集部: ありがとうございます。温泉とブルーベリー、いかがでしたか?楽しんでいただけでしょうか。そうそう、草塩温泉では、お寿司が食べられるようになりましたよ。機会がありましたら、ぜひどうぞ。

新刊 「捨てる!」技術の 辰巳 渚の本

あなたを変える
家事塾
300のメソッド

今すぐ使える
家事のコツとヒント集!

辰巳 渚 著/木下 誠 監修 定価 1,260 円

東京都文京区水道1-9-2 TEL.03-3812-9131
http://www.iwasakishoten.co.jp

岩崎書店

鉛筆の名作 1ダース ¥1,764

「ハイユニ」

文具の
月禾堂 TEL.(0556)22-0445

都会育ちの私は、茂倉を故郷にもつ人うらやましく思い、相撲をはじめとする茂倉の宝物が未来に引き継がれていくことを願うばかりです。皆様の故郷ではこうした絆は大切にされているでしょうか。早川の今、そして、ご自身のふるさとについて考えて頂くきっかけになれば、うれしく思います。(大久保実音)

山を覗けば宝の山
やまだらけ

発行元/フィールドミュージアム運営委員会
住所/山梨県南巨摩郡早川町葉袋430 〒409-2727
電話/0556-45-2160 ファクシミリ/0556-45-2268
ホームページ/http://www.town.hayakawa.yamanashi.jp/fm/